

東光寺だより

お釈迦様の誕生日 4月8日

みなさんご存知のように4月8日は仏教徒として一番うれしいお釈迦さまの誕生日です。仏教では「花祭り」のことを灌仏会（かんぶつえ）--降誕会（ごうたんえ）ともいいます。



東光寺の花御堂

明治の初期、揖斐で活躍された国枝桂助盛勝師の作品です。

ここでお釈迦様の生涯を簡単におさらいいたしましょう。

誕生

お釈迦様は現在ネパールの釈迦族の王子様としてうまれられました。母親のマヤ夫人は王子さま誕生間もなく亡くなられ、妹マハー夫人に育てられたのです。今からおよそ 3000年ともいわれています。

悩み

王子様としての生活はなに不自由なく結婚もされ、子どもも授かりました。しかし生まれ、老い、病気、やがて死ぬという人間の平等に与えられている生老病死の苦からなんとしてみかねて人々を解放せねばならんという強い願心のもと妻子、身分をすてて出家されたのです。御年二十九歳でした。

難行、苦行

当時バラモン教が風靡しており、その教えに従って修行をされましたが、それは生死をさまよう難行、苦行でした。そのお釈迦様を救ったのがウルヴェーラー村の娘スジャータでした。

悟り

その後、お釈迦様は苦行を止め、ただ瞑想の日々でした。かつての修行仲間からは異端者とののしられ、理解されませんでした。ある年の12月8日菩提樹のもとで悟りを開かれました。御年三十五歳。

教団の成立

まずは自分の悟りを修行仲間に出しました。五人の仲間は最初聞き入れませんでした。やがて理解でき、お釈迦様の弟子となりました。この時教団としてなり立ったのでした。当時お釈迦様の弟子は一千人を超えと言われていいますが、その中でも仏教を後世に広めたのは十弟子の偉業であるといわれています。十弟子のなかにはおなじみの仏様もいらっしやいます。1番弟子 舍利弗 智慧第一、2番弟子 目連 神通第一、3番弟子 摩訶迦葉 頭陀第一、4番弟子 阿難陀 多聞第一・・・など

お釈迦様は八十歳で涅槃に入られました。



住職の写経十巻完了いたしました。一巻に心経50回です。全部で五百回です。まだ続きます。

オンラインショップ

「桃花」オープン

かねてから準備中でした オンラインショップが開設いたしました。

ショップ名 桃花

オーナー 東光寺 寺庭 鷺見千恵子

今回の商品 五眼龍菩提樹の実をあしらった
ブレスレット と ストラップ です

一度のぞいてみてください

令和4年4月1日

文責 東光寺 住職 鷺見邦隆